

## 大人にはなれる

勉強ができなくても（しなくても）大人にはなれます。また、学校で学んだことは社会に出てからあまり役に立たないという言い方をされることもあります。そして、学校の勉強ができなくとも、大人になって、社会に出て立派にやっている人はたくさんいます。だからと言って、子供のうちから勉強はしなくてよい、無意味だというのは、ちょっと違うような気がします。

やってみて、結果がよくなかった、勉強は苦手であるということはあってもよいと思いますが、それだからと言って苦手なことや面倒なことからいつも逃げていけば、やがては勉強以外のことも身に付かなくなっていくます。好きできえあればやれるというのは苦しい気がします。好きなことでも粘りがなければ、仕事にできるまでのレベルに達することは難しいでしょう。そして、繰り返しになります。勉強しなくても大人になれますが、勉強すればそれだけ選択肢が増えることも確かでしょう。どんな資格を取るにも、技術を身に付けるにも、こつこつと学ぶ努力や根気が必要です。

子供から「何で今勉強せんならんが？」と問われたら、発達の段階に応じて次のように話してやってください。「学校で今勉強しているすべてのことが大人になってから役に立つわけではないが、どれが役に立つか今のところ分からない。少なくとも勉強ぐらい、宿題くらいやろうという気持ちをもてないものは、どんな夢を追うにしても、何かになりたいと思うにしても、自らその可能性を遠ざけているのかもしれない」高学年を担任した時には、そう子供たちに話していたことが思い出されます。

さて、令和6年度の卒業式まで1か月を切りました。6年間の小学校生活修了、本当におめでとうございませう。送り出すのが惜しい、手放すのがもったいない気持ちになる6年生でした。しかし、6年生が後輩に残そうとしたもの、託そうとしたものは、確かに在校生に引き継がれているように思います。このような素晴らしい子供たちの育った背景には、苦手なことから逃げるばかりではなく、挑戦する大切さを学び続けてくれた「寺家っ子」だからこそだと考えます。

いよいよ納めの月、3月を迎えます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、いつもご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。まだまだ寒い日が続きます。十分気を付けてお過ごしください。

(校長 村杉 一也)